

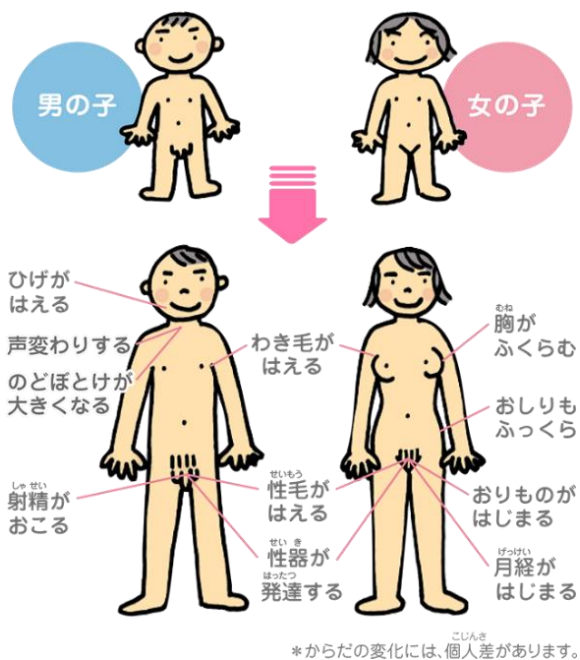
思春期とからだの成長

R2.7.10

〈公益社団法人〉日本産婦人科医会によると、思春期とは、『子どもが大人へと成長するための移行期間を指し、8歳頃から17、18歳頃までの時期に相当します。』とあります。

本校では4学年を対象に授業を行っています。

以下の写真は、本校の養護教諭による授業の一場面です。みんな真剣に聞いていました。



思春期という時期に、さしかかりました小学校の高学年くらいになると、みんなのからだは、そろそろおとなになるしたくをはじめます。わきの下や性器に毛（性毛）がはえてくるのは、そのしるし。このほかに、女の子と男子のからだには、それぞれちがう変化があらわれます。この変化は18歳ぐらいまでつづき、みんなのからだは、だんだんおとなになっていきます。この変化の時期を「思春期」といいます。思春期は、からだだけでなく、心もおとなになっていくときです。<https://www.kao.co.jp/laurier/karada/01/>より引用